

とうしょ

東京島嶼地域活性化実現会議～東京活性化サロンWith Islands～

東京島嶼地域活性化のため、(株)日本政策金融公庫と連携し、標記会議を設置。大島町、八丈町、神津島村、新島村、三宅村を訪問し、町村長との政策対話を実施しつつ、大学や若手起業家とも意見交換。島の内外双方の声を聞きながら、島嶼活性化に向けた取組を実施。

概要

◆東京財務事務所は、『島嶼地域活性化に向けた認識の共有や課題解決』に取り組むべく、(株)日本政策金融公庫と連携し、平成29年5月、“東京島嶼地域活性化実現会議～東京活性化サロンWith Islands～”を設置。



◆当事務所の呼び掛けで、各島の地方公共団体、商工会、東京都、支援機関、金融機関、企業等が多数参画。

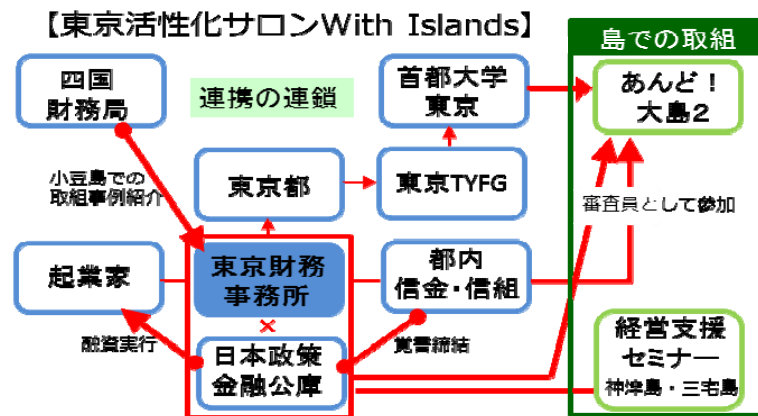
◆支援メニューの共有、移住定住促進等、テーマを明確化し、具体的成果に向け、継続的に意見交換を実施。

なぜ、シマなのか？

- 財務事務所の重要な役割の一つに「地方創生」への貢献(⇒では、東京における「地方創生」とは?)
- ターゲットはタマ&シマ。両地域は、少子高齢化・人口減少など、他の地方部と同様の課題が急速に進展。
- このため、東京財務事務所は、両地域の活性化への貢献を最重要課題と位置付け、取組を強化。

取組の成果と今後の展開

- ◆公庫との強固な信頼関係のもと、年間を通じ、関係者との意見交換、実務者会合、実現会議開催に継続的に取組み。
- ◆趣旨に賛同した地域銀行、大学等が追加参画したほか、当事務所のネットワーク力により、若手起業家等が次々参画。互いが共感し、連携の連鎖が生まれる好循環が発生。
- ◆公庫と地元信組の協定締結、公庫から起業家への資金支援、大学起業家養成講座(あんど!大島)への参画も実現。



◆引き続き、支援メニュー共有、移住定住促進等に向けた広域連携、地元高校生による起業コンテスト参加実現など、具体的成果のための活動を加速させていく方針。